

**2012年 11月 石原社長定例記者会見概要**

11月28日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

下期第8週までの視聴率は、ゴールデン、プライムタイムともに厳しい状況が続いている。企画強化月間と位置づけた11月は、レギュラーバラエティの3時間スペシャルや、新企画の単発スペシャルなどを投入した。

石田純一さん夫妻の長男誕生に密着した『金スマ』の2時間スペシャルは、17.6%の高視聴率を獲得し、『ぴったんこカン・カン』の2時間スペシャルも14.1%と、期待に応えてくれた番組もあった。今月16日には、来年のWBCに向って、『侍ジャパンマッチ 日本対キューバ戦』を生中継し、視聴率15.2%と好成績を残した。

年末年始の特別編成では、12月30日に、恒例の『輝く！日本レコード大賞』を放送するのをはじめ、大晦日と元日は、年越しスポーツ祭と銘打って、スポーツバラエティやボクシング、駅伝の生中継など8番組を長時間編成し、ご家族で楽しんで頂こうと思っている。1997年以来、放送を続けているサバイバルアタックの『SASUKE』も、12月27日、パワーアップしてお届けするので楽しみにしていただきたい。

<営業関連>

10月のネットタイムのレギュラーセールスは系列のMBS発局の番組が増えたことから多少の減収となった。ローカルタイムは、ちばアクアラインマラソンが売上に貢献し前年を上回った。11月以降はほぼ前年並みで推移する見込みだが、年末年始セールスで、前年を越える売上を目指して作業をすすめている。

スポットセールスは、10月の東京地区投下量が90%を割り、前年比86%と大幅な減収となった。「食品」「酒・飲料」「化粧品・トイレタリー」といったスポット売上のベースとなる日用品が軒並み前年比70%を割っている。11月以降は市況も若干持ち直し95%程度の売上を見込んでいる。

7～9月期のGDPが四半期ぶりのマイナス成長に転じて、景気が既に後退局面に入ったという見方も出ている。一方、選挙を受けて円安・株高が進み、景気浮揚への期待感も出てきているが、慎重に先を見据えながら、機動的に対応していきたい。

<赤坂サカス・事業関連>

冬のサカスでは、恒例のアイススケートリンクを今週末グランドオープンする。5回目となる今回の「ホワイトサカス」は、「サカスポ！～ホワイトサカス・スポーツフェスタ」と銘打って開催する。『炎の体育会 TV』、『S☆1』などのスポーツ系の番組と連携させて、2020年の東京オリンピック招致を盛り上げていこうと考えている。スケートリンクはトヨタの協賛をえて「サカスポ！ラクティスリンク」という名称となった。明日29日と明後日30日はプレオープンキャンペーンとして無料開放するので、大勢の方に来ていただきたい。

映画では、TBS開局60周年記念作品の「のぼうの城」が大ヒットしている。公開26日で興行収入が21億円を超えており、さらなる伸びを期待している。

赤坂 ACT シアターでは、草薙剛さんをはじめ、日本と韓国を代表する俳優が出演する舞台「ぼくに炎の戦車を」が続いている。日韓の政治状況が微妙な中、当初は少し心配していたが、非常に好評で、チケットも完売状態だ。年末から年始にかけては、今年で5回目を迎える「くるみ割り人形赤坂サカスバージョン」をお贈りする。熊川哲也さんが演出する魔法のような舞台をお楽しみいただきたい。

<ラジオ関連> TBSR&C 入江社長

10月の聴取率調査でTBSラジオは2001年8月以来連続首位の記録を更新した。過去最低レベルだった前回8月の1.1%と変わらずだが、『JUNK』がオールナイトニッポン・NHK深夜便に完勝、『堀尾正明+PLUS!』が番組平均聴取率で初の(同率)首位獲得、などよいニュースも。セッツインユースは前回から0.2%上がったもののまだ十分な数字ではない。

12月16日(日)の総選挙にあたっては『TBSラジオ総選挙スペシャル 2012～私たちは何を選んだのか～』(進行:麻木久仁子/荻上チキ)を20時から28時まで放送する。

営業状況は、10月に入りタイムが予算・前年をともにクリアするなど堅調だがスポットが厳しく、通期での業績に関しても油断できない。

事業関連では12月21日から25日まで5日間、赤坂の草月ホールでTBSラジオでおなじみの出演者を中心とした日替わりのライブイベントを開催する。

以上